

教文通信写真館

「turn turn turn」



写真とエッセイ：倉石典広さん（生物教育研究会 伊那北高校）

今回は趣向を変えて、私が研究者時代に作った標本の写真をご紹介します。自然のダイナミズムをとらえた写真をご期待いただいていた皆様には申し訳ありませんが、お付き合いいただければ幸いです。（つづきは3P）

# 教文通信

発行所  
長野県教育文化会議  
発行人  
寺尾 真純

## 今号の記事

- 01-02 中野西高校職場教研
- 02-03 夏計画されている学びあれこれ  
フランスとドイツの学校で  
教文通信写真館エッセイ（つづき）
- 04-05 2025 教育のつどい
- 04, 06-07 教育のつどい 2025 レポート紹介  
第1分科会 国語教育  
定番教材「ころも」(夏目漱石)  
の授業  
08 本の紹介

教文の総合研究会、全県研究会は、職免研修に留まらず、学校長の判断にはなりますが、出張参加も可能です（旅費支給・別途出張も学校長の判断です）。

- ① 研修計画をつくる
- ② 管理職に提出する
- ③ 職場を離れて研修を行う

夏の学びの季節がやってきました。補習や部活動指導で、なかなか時間を生み出すのが難しい状況もあるかと思いますが、教特法二十二条の2にある、「授業に支障のない」時間が、比較的取りやすい夏休みの期間、各校の慣例に則って、学校長の承認を得て、「勤務場所を離れて」自主研修に取り組みませんか。教文の総合研究会や各研究会による全県研究会、教育のつどい、民間の研究団体による学習会など、学ぶ機会が目白押し。

## 夏の学びの季節到来

個人で、職場で、支部で、全県で、全国で  
仲間と一緒に大いに研修を!!



## 中野西高校で 職場教研を実施

6月18日（水）、中野西高校にて職場教研を実施しました。今回のテーマは「自動採点システム」についてです。

学力検査などで導入されている自動採点システムについて、使用経験のある職員2名から実践報告をいただきました。「使ってみたいけれど、操作がよく分からない…」という職員も多く、当日はおよそ20名の参加

がありました。

ひとり目の発表では、自動採点システム導入のハードルについてお話をいただきました。発表者は、「自動採点システムを使うことは、高校生がオープンキャンパスに参加するようなもの。つまり『使ってみないと分からない』と語り、まずは一歩踏み出すことの大切さを強調されてきました。実際に使ってみることで、メリットやデメリットを実感できるという、我々の背中を押してくれる内容でした。



ふたり目の発表では、具体的な操作方法について、実際の画面をスクリーンに投影しながら解説していただきました。解答欄の指定方法、手動採点とAI採点の違いなど、実務に直結する内容で、参加者からも感心の声が上がっていました。「手作業で採点するよりも時間の短縮になる」とのこと、活用してみたいという気持ちが高まりました。多くの質問も寄せられ、活発な意見交換をすることができました。

終始和やかな雰囲気の中で行われ、有意義な学びの場となりました。発表者のお二人、そして参加してくださった皆様、ありがとうございました。

今夏計画されている  
学びの機会あれこれ  
校長判断で、出張・職専免研修可  
もちろん Plant に記録も可

『教育と愛国』 上映会

伊那市防災コミュニティセンター 第3研修室  
2025年8月7日(木)

9:30 ~ 10:55 映画上映 (先着 30名) 入場無料

11:00 ~ 11:40 交流 (Lunch meeting)

会費 1,500円

- ・上映会のみでの参加でも構いません。
- ・交流 (Lunch meeting) の会費 (1,500円) は、当日会場で集めます。釣銭のないようご準備ください。
- ・申込み締切は、8/1 (金) ですが、定員 (30名) に達し次第、受付を締め切ります。
- ・参加の申し込みはQRコードから



社会科教育研究会  
平和人権・国際・環境教育研究会  
共同開催



ひとりの記者が見続けた  
“教育現場”に迫る危機  
教科書で“いま”何が起きているのか？  
いま、政治と教育の距離が  
どんどん近くなっている

## 教文通信写真館エッセイ (つづき)

私はカエルの分類学を専攻していました。分類学全般に言えることなのですが、標本作りは研究に欠かせません。

標本作りとは、生物（或いは生物の一部）を犠牲にして半永久的に保存することを言います。

今回の写真は、マレーシアに調査に行ったときに、そこで採取したカエルを標本にしている最中の記録です。

麻酔液でカエルに苦痛を与えないように眠らせた（殺した）後、DNA 検査用の組織を採取します。

次に、ホルマリンを湿らせたキッチンペーパーの上にカエルを並べます。後に足の長さなどを計測するので、なるべくまっすぐになるようにきれいに並べます（今回の写真がこの段階です）。そして、そのまま半日ほど固定（標本が腐らないようにホルマリンを浸透させること）をします。

ホルマリンが浸透した後、水に数時間付けて余分なホルマリンを抜きます。最後に、70% エタノール液の中に浸けることで、半永久的に保存することが可能になります。

さて、このカエルたちの足に結び付けているのは標本番号です。私の教授が立ち上げた研究室の標本の数を表しています（研究のために 50000 匹以上の個体を犠牲にしてきたということです）。

この話を聞くと、眉を顰める方も多いかと思います。確かに、奪う必要がない命を奪うのは良くないと思います。事実、近年はなるべく標本にせず、生きたまま研究に利用できるようにと、様々な工夫がなされています。

それでも科学の発展には一定の犠牲は必要悪なのだと私は思います。

分かりやすい例は、医療系で使われる実験動物でしょう。彼らの犠牲のおかげで、今日、我々は様々な薬や医療技術の恩恵に預かることができているわけです。

科学の進歩や動物愛護、様々な側面から一人（一匹）でも多くの個体が幸せになれるように、考え続けるのが、我々ヒトの宿命なのかもしれません。そんな風に思った今日この頃です。

この中に、実は 1 匹だけ別種のカエルが混ざっています。見つけられた人は、是非倉石までご報告を（正解者には豪華景品を、とはいきませんが・・・）。

## 子どもたちが よりよく生きていくために

学校保健全県研究会

■ 8月5日（土）9：45～16：00

■ 実践・研究報告

「対話する子どもたち～成長のきっかけは多様で唐突に～」

「韓国のメンタルヘルス教育に学ぶ、保健室への可能性（仮）」

「"学校" から"社会" へつなぐ伴走者として

～発達障害のある生徒の自立支援と医療・就労との連携～

■ 講演

「思春期の特徴を知って、"折れない心" を育む」

日戸由刈 さん（相模女子大学人間社会学部人間心理学科）

「"気になる生徒" への理解と対応

～コミュニケーションの基本『立ち位置』～

新保文彦さん（松本圏域発達障がいサポートマネージャー）

■ グループ討議

## 実習と講演で 充実の学習の機会に

家庭科教育全県研究会

■ 8月5日（土）9：45～15：40

■ 諏訪実業高校

■ 学習会①

「絵本から広がる世界&野菜スタンプワークショップ」

1) 絵本の紹介と抗議

2) 野菜スタンプワークショップ

トートバックに野菜スタンプでオリジナルバックを！

豊嶋さおり さん

■ 学習会②

「これからの家庭科を考える～未来ビジョンと現状把握～」

1) 授業改善のための観察・分析手法（家計の分野を題材に）

2) 学校現場での課題解決と実践プランニング

■ 総会

長野県からの提出レポート・分科会役員			
分科会	レポーター	所属	題名
1	牧内淳一	長野東	文学国語（高校2年生）の授業から
2	盛田彩花	丸子修学館	「楽しさ」伝わる授業を目指して
3	田澤秀子	上伊那農業	《司会者》
5	小原秀樹	中野西中条校	「免疫」をどう教えるか？
A	武井由佳	辰野	私たちも辰野町の仲間 三者協議会から学校づくりを考える ～SDGsを柱とした生徒会活動を通して～
B	寺尾真純	岩村田	《司会者》
D	森嶋光	屋代	環境レポ 地中熱ヒートポンプの仕組みと実際
D	工藤ジュン	長野西	日本のジェンダーギャップ指数 低迷の理由を探る授業

教育のつどい2025 レポート紹介 第1分科会「国語教育」

## 文学国語 定番教材「こころ」（夏目漱石）の授業

長野東高校 牧内 淳一



### 1 【この授業の目的】

これまでは、「私（先生）」の遺書中に登場する親友「K」の自殺の原因についてを中心に、教師による一定の解説、解説しないまでも一定の方向に誘導するような一方的な授業をすることが多かった。時間もかかる。では、自由に読んだらどうなるか？生徒の自由な発想による読みを試みる。100年以上前の小説を今の若者が読むと・・・

グループ内で意見交流することにより読みを深めていく。

事前に「NHK for school」動画視聴・「語句調べ」・事前読みは済んでいる

★グループ学習 3時間

★発表 2時間

### 2 【授業で指示したこと】

文学国語「こころ」（夏目漱石）グループ学習  
小説「こころ」について、テーマを設定し、スライドを作成して発表してもらいます。

- 1 グループでテーマを決める  
グループの代表者を決めてください。テーマ例を示すとそれに流れてしまうので例は示しません。グループで話し合いをし、自由に設定してください。
- 2 スライドの基本構成  
①テーマと設定理由 ②考察 ③結論とその根拠（本文の記述内容を根拠にする）

- 3 スライド作成について  
探究で学んだスライド作成のノウハウを生かそう。時間数は3時間。スライドは代表者のファイナルを共有し、共同編集できるようにする。スライドの枚数は特に指定はしませんが、流れや見映えを工夫してみよう。Jamboardを使って意見をシェアし意見交換をしてみるのもいいです。

6Pに続く

# 今年の教育のつどい（全国教研）は、埼玉で

みんなで21世紀の未来をひらく

## 教育のつどい

憲法と子どもの権利条約がいきで輝く教育と社会を確立しよう  
平和を守り真実をつらぬく民主教育の確立／教え子を再び戦場に送るな

**教育研究 全国集会**  
2025年8月  
17日(日)  
18日(月)  
19日(火)

**教育フォーラム**  
8月17日(日) 17:00～19:30  
(6つのフォーラム・さいたま市内各所) 参加券購入でオンライン参加できます

**分科会**  
8月18日(月) 10:00～17:30  
8月19日(火) 9:30～16:00  
(県内各所) ※会場によっては交通の便を考慮し、時間差を設け開催します。

## 開会全体集会

**8月17日(日) 13:00～15:30**  
埼玉県さいたま市内

講演 **安田菜津紀さん** オンライン無料配信

認定NPO法人Dialogue for People フォトジャーナリスト。同団体の副代表。東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。



### 難民の声、 家族の歴史から考えた 「共に生きるとは何か」

「シリアでは昨年まで過酷な弾圧や戦争が続き、パレスチナ・ガザ地区ではイスラエルによる侵攻で多くの人々が犠牲になってきました。こうして世界では故郷を追われる人が後を絶ちません。日本国内に暮らす多様な人々の中にも、命の危険から逃れ、難民とならざるをえなかった人々がいますが、難民認定の壁に突き当たっています。また、様々なルーツを持つ人々へのヘイトスピーチ、ヘイトクライムの問題も根深く残っています。この社会で「共に生きるとは何か」ということを、国内外で出会った人々の声、そして家族の歩んできた歴史も交えて考えていきます」

フォーラム名	
A	生きづらさの中での希望を語り合おう
B	声をあげ、子どもの成長・発達につながるもの ～教育DXと学習指導要領改訂を考える
C	多様性を尊重する社会と教育とは ～子どもたちがつきつける学校の問題とは
D	戦後80年 被爆80年の今 戦争・被爆体験を伝え平和をどうするか
E	埼玉の開かれた学校づくり
F	競争原理を超える学校づくりをめざして

### 参加の方法

- ①全体会・講演会 (8/17)
  - a, 現地参加 (教文会議に申込、参加券必要)
  - b, オンライン視聴 (QRから)
- ②教育フォーラム (8/17)
  - a, 現地参加 (教文会議に申込、参加券必要)
  - b, オンライン視聴 (教文会議に申込、参加券必要)
- ③分科会 (8/18-19)
  - 現地会場のみ (教文会議に申込、参加券必要)

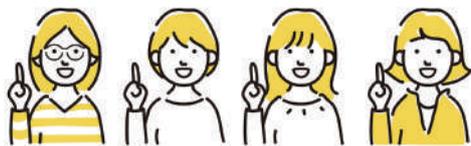
詳細はこちら



記念講演オンライン視聴はこちらから↓



分科会		分科会	
1	国語教育	A	参加と共同の学校づくり
2	外国語教育	B	発達・学力、教育課程づくり
3	社会科教育	C	主権者の教育と生活指導・自治活動
4	数学教育	D	子ども・青年たちの生きたい社会づくり
5	理科教育	E	子どもの人権と保育・学校・地域・家庭・図書館・文化活動
6	美術教育	F	障害児教育
7	音楽教育	G	青年期の学びと大学づくり
8	書写・書教育		
9	技術・職業・情報教育		
10	家庭科教育		
11	体育・健康・食教育		



4 根拠を本文に求める  
なぜそのように考えるのか、その根拠を必ず示しましょう。根拠は本文の記述に求めましょう。

3 【グループづくり】 グループのリーダー選出

4 【各グループの設定したテーマ一覧】

- ・ Kはなぜ自殺したか
- ・ Kの心情の変化
- ・ 先生の心情について
- ・ 登場人物のころころ
- ・ 「K」のころころ
- ・ なぜKは自殺したのか
- ・ Kの心情
- ・ 私の行動からKがどう考え行動したか
- ・ 先生の心情
- ・ なぜころころという題名なのか
- ・ Kを自殺に追い込んだ黒幕とは
- ・ Kが自殺しなくても良い未来はなかったのか
- ・ 「先生」の人生記
- ・ なぜ「ころころ」は名作と言われるのか
- ・ 夏目漱石が「ころころ」で伝えたかったこと
- ・ お嬢さん目線の「私」と「K」
- ・ 先生が自殺した理由
- ・ 私（先生）とKの死とその原因

5 【グループ学習の様子】  
6 【発表の様子】



7 【授業後のふりかえり】  
作品の理解について

質問項目

質問1 グループ学習を通して、「ころころ」の内容は理解できましたか？

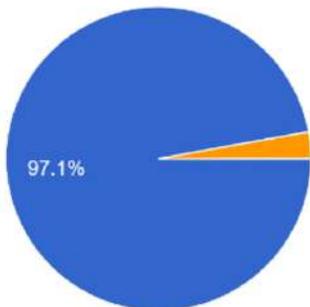
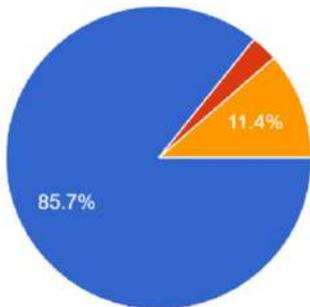
質問2 グループ学習を通して、読みや考えは深まりましたか？

質問1の回答←

質問2の回答

- 1 理解できた
- 2 理解できなかった
- 3 どちらともいえない

- 1 深まった
- 2 深まらなかった
- 3 どちらともいえない



質問3 グループ学習に取り組んだ感想を記入してください。

・より文を深掘りできたので良かったです  
・休みが多くてなかなか理解できないうちに進んでしまったのがもったいなかった  
・はじめは何を書か決まらなかったけれど班で意見を出し合いスライドを完成させられてよかった  
・自分で考えまとめるのは難しかったけど内容の理解がより深まったのでよかった  
・みんなで内容を理解してスライドにまとめたことでより理解を深められたと思うので良かったです  
・Kの行動や心情がよくわかった  
・自分たちの班だけでは出てこなかった意見が沢山あつてなるほどだと思います  
・考えが深まったのではないかなと思います  
・お題から自分たちで考えなければいけなかったもので、いつも以上に物語に対しての真剣さが生まれたと思う  
・また、自分の考えだけではなく他の人の意見もしたのでとてもよかったです  
・新たな視点や解釈を手に入れることができ、より一層この物語を楽しむことができる様になった  
・9班や他の班のスライドを見ると、そのレベルはできなくても、もうちょっと工夫していいスライドを作れたと感じた  
・けれどもスライドとして一応内容の網羅はできたと思う  
・なかなか結論を出すことができなかつたけれどグループのみんなと案を出し合つて試行錯誤して結論までたどり着く事ができたので良かった  
・一人では思いつかないこともスライドにとりくめた  
・それぞれ文章を読み取って感じることに気づくことは様々だから色々な意見を聞いてまとめるのが楽しかった  
・私が初読した

時とは違う考え方や、読み取り方などが沢山あって面白かったし勉強にもなった。より内容を理解することができたと思う。スライドも、どうしたらもっと見やすくなるかなど工夫するのが楽しかったし向上したと思う。・スライド作成が上手くいったかはわからないけど、なんとか完成できて良かった。他の班の発表を聞いて、スライドの作り方や発表の仕方の勉強になった。・思ったより何を調べればいいのかなど具体的に結構時間がなかったり、スライドづくりも思うようにできていなかったりとかかなり苦戦した。・一人では思いつかなかったこともグループみんなまで考えて理解を深めることができた他の班の発表も聞いて考えが広まった。・他の班の人のスライドを見てこんな考えがあつたかと感じたり、まだまだスライド書くことができたなと思ったりなど、色々考えを深めることができて楽しかった。・班の人達と協力することで自分ではきづけないことにもきづくことができた。・登場人物の心情や状況などをみんなで話し合っ自分では出ないような新しい視点からの意見も聞くことができたので良かった。1つのテーマを決めてそれについてまとめ、スライドにして発表することは大変だと思いましたが、班でテーマを決めて話し合うことで、より本文の内容が入ってきやすかった。ほかの班のスライドを見てそういう考えもあるのだなと気付かされた。・自分で登場人物の心情を考えながら読むのは面白かったです。疑問に思っていたことを考察して理解を深めることができた。・班の人達みんな、一つのスライドを作り上げら

れたのでとても楽しかったし、大きな達成感を得ることができました。班長の身としては、皆協力してくれるか最初は心配でしたが、ちゃんと参加し、相談もすることができたので良かったです。このスライド学習を通して、全体の流れや登場人物の心情は結構把握することができました。・「k」や「私」の心情をみんな同じように読み取っていたことがわかった。グループによって注目している観点が違って、いろいろな観点から登場人物の感情が読み取れて面白かった。長い文章だったけど、グループ学習をして大事なところを理解できた。・休んでいたのもあって本文の内容がほとんどわからないので、発表の内容があまり頭に入ってこなかったが班によってスライドの出来や内容量が全く違ったので見て面白かった。なげならその方が仲のいい人とやられてスライドの作成がはかどるし、もつとレベルの高いものが作れると思つたから。・たのしかったです。最初は「嫌だな、めんどうくさいな」と思っていたが、やってみたら案外楽しくやりがいがあった。最初は、あまり深く読み取れていなかったが、調べていくうちに、こういうふうにも考えられるなど色々な考察に触れることができ、考えが深まった。スライドを作るのも楽しかった。他の班の考えもどれも面白く、改めて色んな人考え方があるなと思えた。・自分だけで考えるのと他の人と考えるのでは考察や意見の幅が全く違った。・色んなグループの発表を聞いてみると、同じように考えた部分もあれば少し違った考え方もあって、色んな

視点で考えることができて考えを深めることができたと思う。・グループでスライドを書き色々な意見や内容など協力して書いて自分では良いスライドができたと思います。・自分の調べたことについて考えを深められたし、同じ班の人と話し合いながら自分にはない意見を聞いて楽しかった。他の人のグループの発表も自分たちの班にない考えを聞いて考えを深める参考になった。・自分たちで試行錯誤しながらスライドの内容を深めていったことで、文章をしっかりと読み取るうとしていたりなどそこから自分の考えを深めていくことができた。・感情を直に描いている文が思ったよりも少なく、文の中から感情を読み取ることが多かったため時間がなかった。・1回全部読んでみたけど、内容が難しくよく理解できなかったけど、自分のグループでまとめたり、他の発表を聞いたりして理解を深められたと思う。・他の人と意見を交換することで自分が思いつかなかったことや、違う視点からの意見が聞けるのであるほどと思うことが多かった。

**8 【授業後のふりかえり】**  
**グループ学習に取り組むでの「反省」**

**KKの行動と心情（心情は考察の部分多）**

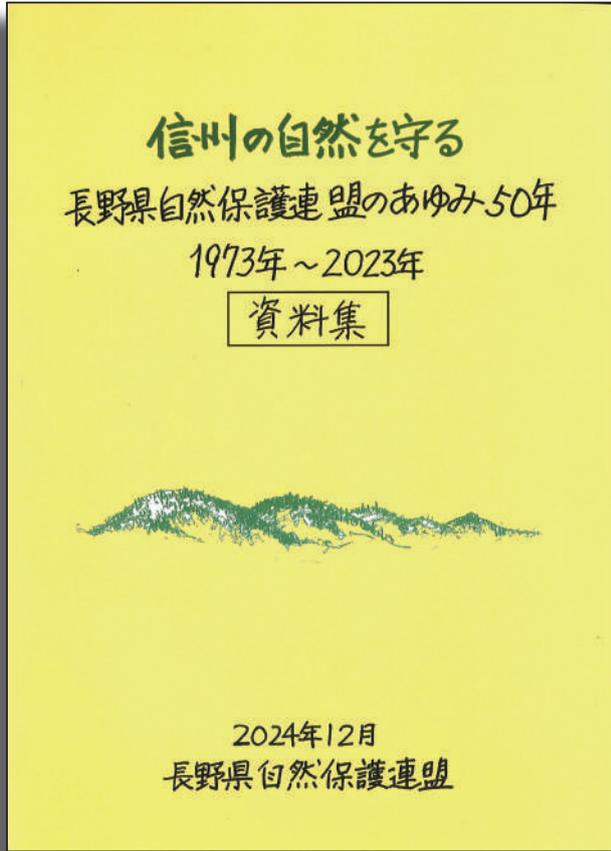
場面①Kの変化と告白  
 場面 朝で寝を話すにも、もてもてさせられるが、  
 【心】 「どうやらお前さんがお前さんの探求のまんなかです。」  
 →「探求は出来ないけど」で済ませた。  
 【心】 「お前さんの探求は、お前さんの探求のまんなかです。お前さんの探求のまんなかです。お前さんの探求のまんなかです。」  
 【心】 「お前さんの探求は、お前さんの探求のまんなかです。」  
 【心】 「お前さんの探求は、お前さんの探求のまんなかです。」

場面②先生との対話  
 「お前さんの探求は、お前さんの探求のまんなかです。お前さんの探求のまんなかです。お前さんの探求のまんなかです。」  
 →「お前さんの探求は、お前さんの探求のまんなかです。」  
 【心】 「お前さんの探求は、お前さんの探求のまんなかです。」  
 【心】 「お前さんの探求は、お前さんの探求のまんなかです。」

場面③お前さんの探求のまんなかです。  
 【心】 「お前さんの探求は、お前さんの探求のまんなかです。」  
 【心】 「お前さんの探求は、お前さんの探求のまんなかです。」

続きはデジタル版  
40号で

# 本の紹介 活動のまとめに 一つの区切りに



## 「信州の自然を守る」

長野県自然保護連盟のあゆみ50年資料集

長野県自然保護連盟。日本の自然保護運動の原点であるビーナスライン建設反対運動など、「長野県の知性と科学と行動力とを結集し、かけがえない信州の自然と生活を守る」ことを目的に1973年結成。50有余年を経て活動を振り返り、成果と教訓を総括した資料集。長野県の自然保護運動をまとめていて史料価値は高い。総会資料、要請書・要望書、会報などを掲載。教文会議「地域と環境教育」も連携し、学習や住民運動にも深くかかわった。「非売品」だが、興味のある方は、教文会議事務局まで問い合わせを。

研究会情報を共有しましょう  
ビビっときた研究会に参加しましょう  
研究会長の皆さん 早めの情報提供を  
教文通信でどんどん紹介します



## 「2025 長野の子ども白書」

自分を生きるしあわせな子ども期

「長野の子ども白書」。2012年に創刊。個人や専門家が執筆する複数の記事を通して子どものリアルな姿を伝え、「子どもの生きづらさといかに向き合うか」を投げかけてきた。2025年号を最後に、書籍としての出版は一区切りし休刊となる。これまで、教文会員をはじめとする多くの高校現場の仲間も執筆し、最終号にも記事を寄せている。子どもや若者が自ら筆を取った原稿もある。最終号は7月15日発行。税込み2,500円。申し込みはHPを通じて、あるいはファックスで。「長野の子ども白書」で検索。

教育のつどい 2025  
参加申し込みは  
こちらのQRコードから  
⇒

